

# 第32回 関西国際空港の飛行経路問題に係る協議会

## 次 第

令和6年5月27日（月）15：45～

ホテル日航関西空港（1階 鶴の間）

### 1 開 会

### 2 議 題

#### (1) 関西国際空港における飛行経路の見直しについて

- ・新しい飛行経路案に関する検討経緯について
- ・新たな環境監視体制（案）について
- ・空港と共生する泉州地域の活性化に関する検討会議（案）について

#### (2) その他

### 3 閉 会

#### (資料)

- 資料－1 新しい飛行経路案に関する検討経緯について
- 資料－2 新たな環境監視体制（案）
- 資料－3 空港と共生する泉州地域の活性化に関する検討会議（案）
- 参考資料 新飛行経路案に係る環境検証委員会 中間とりまとめ

## 新しい飛行経路案に関する検討経緯

- 2022年9月 第12回関西3空港懇談会で、関西空港の容量拡張について
- ・2030年代前半を目途に年間発着回数30万回の実現
  - ・2025年万博までに1時間あたりの処理能力を概ね60回に引き上げること
- を目指すこととした。
- 2023年6月 関空の将来需要へ対応するため、地元（関西3空港懇談会）からの要請に応じて、国が新しい飛行経路案を提示
- 2023年8月 新経路案に関し、環境面での影響などを客観的・科学的見地から検証するとともに、改善策の提案等をまとめるため、大阪府・兵庫県・和歌山県が共同で、環境検証委員会※を設置
- ※騒音、交通工学、地域経済などを専門とする有識者6名で構成

### 環境検証委員会での検討経緯

- 2023年8月 第1回委員会
- ・騒音予測の前提条件等を議論
- 2023年11月 第2回委員会
- ・関空協から書面による意見聴取（別紙①）
  - ・騒音予測結果（暫定案）の公表
  - ➡最も厳しいケースでも全ての陸域で「環境基準未満」を確認
- 2023年11月～2024年1月 現地調査
- ・委員長以下が、淡路島、岬町等を現地視察し、首長と意見交換
- 2024年1月 第3回委員会
- ・「中間とりまとめ」の公表（別紙②）
  - ➡騒音予測の修正を行うとともに、改善提案等をまとめる
- 2024年2月 環境検証委員会の提案を踏まえ、地域（関西3空港懇談会）から国へ改善要請
- 2024年3月 地域の要請に対し、**国の回答（別紙③）**

2023年11月6日

泉州市・町関西国際空港推進協議会

## 関西国際空港の容量拡張について

関西国際空港のお膝元である大阪府泉州地域の9市4町で構成する「泉州市・町関西国際空港推進協議会」として、関西国際空港の容量拡張に向けた現行飛行経路の見直しに関し、以下のとおり表明する。

これまで、泉州地域においては、「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港建設の基本理念のもと、開港以来、関西国際空港を応援するとともに、空港周辺の良い環境づくりに取り組み、臨空都市圏にふさわしいまちづくりを進めてきた。

関西国際空港を、世界の玄関口として、潜在能力を引き出し、その魅力や価値を世界トップレベルまで引き上げることが必要であり、更なる機能強化や2期事業の完全供用の実現を望む当協議会としては、今回の容量拡張に大いに期待している。

しかしながら一方で、陸域制限高度の引き下げや運用滑走路の変更などによる騒音の増大が懸念されるところであり、飛行経路の見直しにあたっては、「公害の無い空港」という関西国際空港建設の基本理念を十分に踏まえ、航空機騒音の影響を最小限とするよう、真摯に検討を行っていただいた上で、必要な対策は、国へしっかりと働きかけていただきたい。

また、対策を講じた上でも、なお騒音の影響が大きいと想定される地域に対しては特段の配慮をお願いしたい。

さらに、新しい飛行経路の運用後の監視体制について、騒音の状況や実際の飛行経路等の継続的なモニタリングなど、これまでの取組みを堅持することはもとより、住民の生活環境を守る観点から必要な取組みを付加するなど、強化を図られたい。

最後に、泉州9市4町では、地域連携型DMOを立ち上げ、インバウンド観光の拡大を図るべく、地域観光資源の磨き上げや国内外に向けて泉州地域の魅力を発信できるよう取り組んでいるところである。今後も、空港と地域の共存共栄につなげていくため、観光振興をはじめ地域の活性化に取り組んでいく所存であり、国や大阪府、関西エアポート株式会社におかれては、しっかりと支援・協力いただくようお願いする。

## 環境検証委員会「中間とりまとめ」(要旨)

### ■結論

- ・国から示された新しい飛行経路案は、関西3空港懇談会の要請に応えた内容である。
- ・環境面においては、国基準に抵触することはなく、全ての住宅地で環境基準マイナス5dBを下回る予想。
- ・しかしながら、新経路による住民の生活環境への影響を考えると、単に環境基準等を満たしただけで、十分とは言いきれない。
- ・このような認識の下、安全性の確保を大前提とした上で、地元の視点を尊重しつつ、客観的・技術的見地より、空港と地域経済の発展を図りながら、住民の生活環境への負担をできる限り軽減できるよう、国と地域に対する「提案」をとりまとめた。(下表)
- ・今後は、国、地域それぞれにおいて、必要な議論がなされ、適切な対応がなされることを期待。

### ■国・地域への提案概要

#### 【国に対する要請】

国に対し、次の要請を行うこと

- ① **海上空港における基本理念の遵守**
- ② **新飛行経路の運用時間の制限**
  - ・深夜・早朝時間帯（23時～6時半）の海上ルート使用 など
- ③ **高度を引き上げる運用努力**
  - ・出発便、到着便ともに、安全性を確保する範囲において、陸域上空の飛行高度が上がるよう運用を行うこと など
- ④ **環境監視体制等への参画と協力**

#### 【地域における取組み】

3府県及び空港会社など地域の関係者にて、適切な役割分担の下、次の取組みを行うこと

- ① **地元への真摯な対応**
- ② **環境監視体制等の強化**
  - ・生活環境への影響を監視するため、騒音データ、飛行データ等を収集・分析し、関係者において、情報共有と改善検討の場を設けること など
- ③ **空港と共生し、ともに発展する地域づくり**に努めること

#### 【国・地域等に対して】

- ① **安全性の確保**について、あらためて万全の対策に取り組み、その徹底を図ること
- ② 実際の騒音値が予測を大幅に超え、環境基準に抵触する可能性が高いと考えられるなど、**想定外の事態が生じた場合は、あらためて再検討**を行うなど、必要な措置を講ずること

令和6年3月  
国土交通省 航空局

## 関西3空港懇談会からの要請事項への対応

標記について、令和6年2月5日の懇談会幹事会において、国に対する要請事項が示された。本要請に対し、住民の生活環境への負担をできる限り軽減するため、以下のとおり対応する。

- 海上空港として建設された「公害のない空港」という基本理念は重要であり、今後も引き続き遵守していく。
- 新飛行経路の運用時間及び深夜・早朝時間帯の経路について、要請どおり対応するとともに、深夜・早朝時間帯において、海峡上空の通過をより確実なものとし、経路中心に沿った飛行を一層遵守することで、住民の生活環境へ配慮する。
- 安全性を確保することを前提に、陸地上空の飛行高度の引き上げを図るため、継続的な上昇・降下が行われるよう、運用上の工夫に努める。なお、神戸出発便の高度を指定する地点は海上に設定される予定。
- 環境監視を円滑に行うため、地域側と十分相談し、参画、協力していく。
- 航空・空港分野における関係者が一丸となって、航空交通の安全確保に万全を期す。
- 航空機騒音にかかる環境基準の達成は重要であり、今後想定外の事態が生じた場合は、地域側と十分相談しながら、必要な措置を講じていく。

地区別の航空機騒音予想値（関西国際空港）

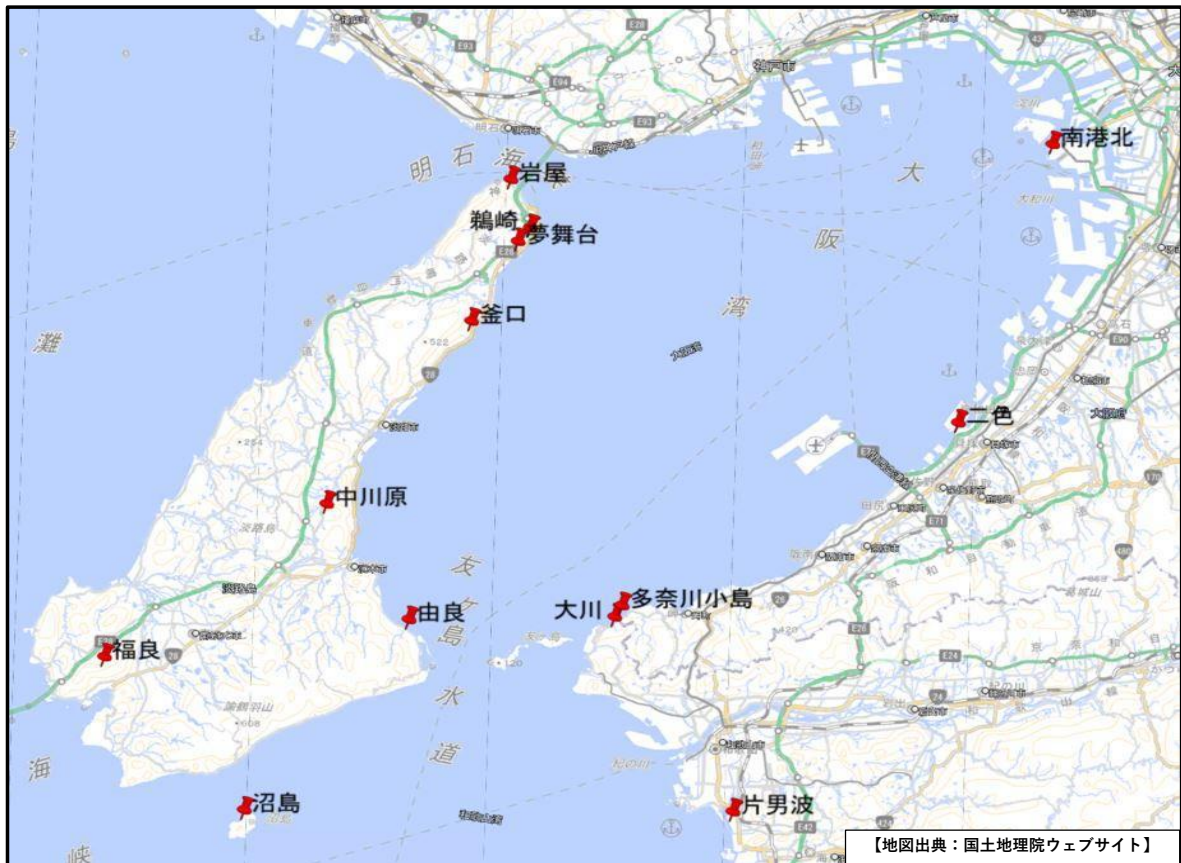
新飛行経路案に係る環境検証委員会  
中間とりまとめ参考資料1より作成

参考資料

Lden試算 (dB)	地 区 名	
57	環境基準を上回る	
	該当なし	
52	該当なし	
48	52未満 ↓ <b>多奈川小島</b> (2019年実績値：48)	
44		岩屋 / 鶴崎 / 釜口 / 由良 / 大川
	<b>二色</b> (2019年実績値：40)	中川原 / 沼島
40	40未満 ↓ <b>南港北</b> (2019年実績値：21)	福良 / 片男波

本表は、主だった地区において、別途作成の騒音予測図/環境基準マイナス5dB（修正案）を下回るかどうかを補助的に確認するため、関西エアポート(株)独自の手法で試算した結果を分類したもの

注：騒音予想は環境基準を下回るほど振幅が大きくなるため、一定幅で表示した。  
但し、天候不良や混雑等により、実際の観測値は上表の範囲に収まらない場合があることに留意されたい。



【地図出典：国土地理院ウェブサイト】

【作成：関西エアポート(株)】

## 新たな環境監視体制（案）

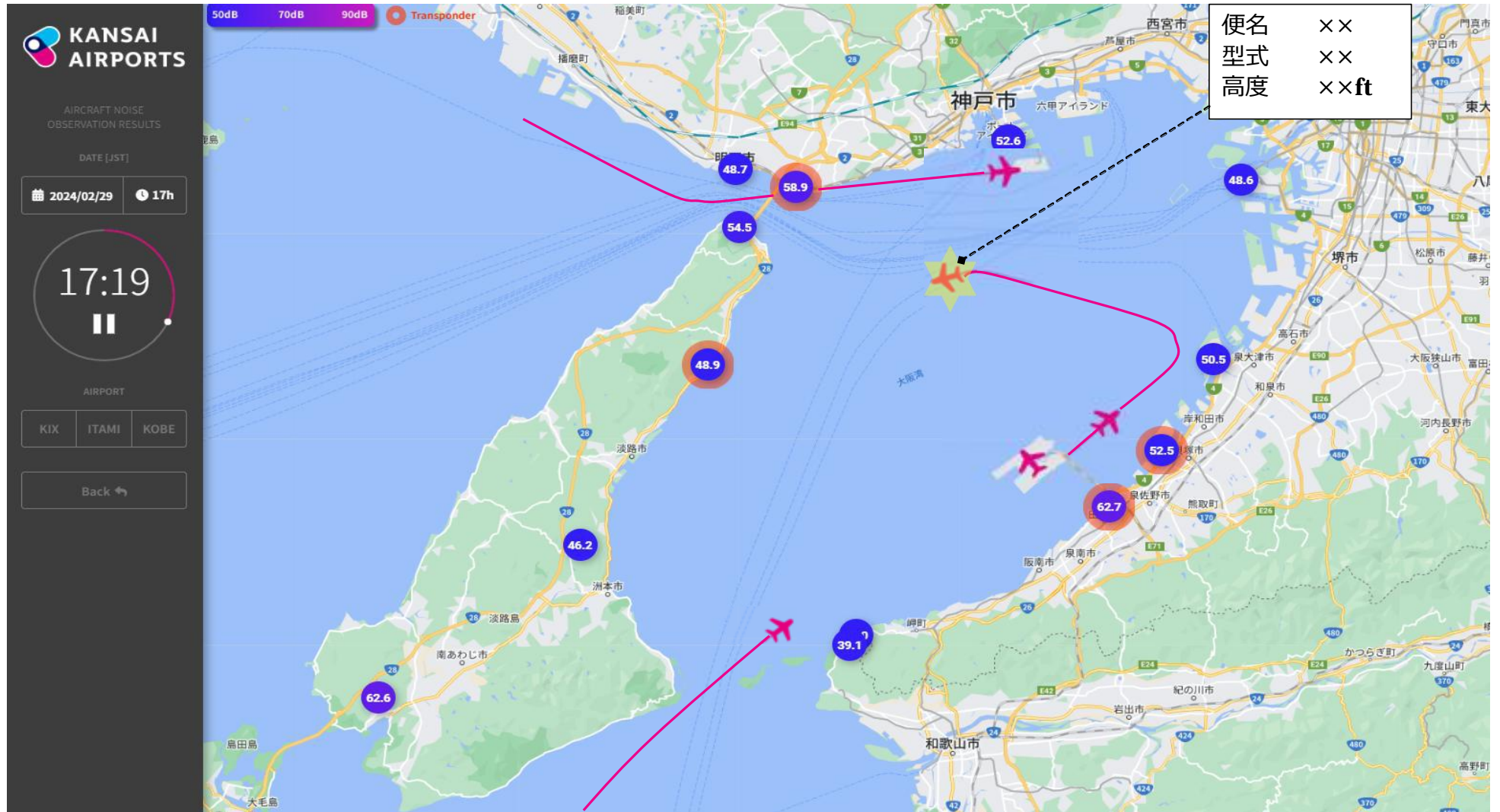
「新飛行経路案に係る環境検証委員会」の中間とりまとめで、地域に対し提案された「環境監視体制等の強化」について、3府県及び関西エアポート株式会社、空港設置管理者などは、航空・空港の安全確保に十分配慮しつつ、住民の生活環境への影響をできる限り抑制する観点から、現在の環境監視体制を発展・強化し、新たな環境監視体制を構築

取組み方向	具体案
新しい飛行情報システムの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飛行情報（騒音情報、航跡情報等）の把握を抜本的に効率化するため、<b>新たなシステムを整備</b></li> <li>○経路外飛行については、基本的に上記のシステムで把握 ※詳細については、住民生活への影響や環境改善の可能性も踏まえて、今後調整</li> </ul>
監視状況の公表等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上記の飛行情報は、関西エアポート社ホームページにて可能な範囲で<b>一般公開</b></li> <li>○監視結果は、<b>飛行経路協議会等に報告</b></li> </ul>
環境影響に関する連絡調整会議（仮称）の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>環境監視の実務</b>を担うため、大阪府、関西エアポート社を主に、国等の参画、協力を得ながら<b>会議体を設置</b></li> <li>○住民からの苦情、経路外飛行情報、大きな騒音観測などの個別事象に応じ、飛行データを参照すること等により、<b>問題事例を発見し、必要に応じた改善策の検討</b>など個別事案に対応。また、蓄積データをもとに<b>長期的な視点などからも議論</b></li> </ul>



# ホームページで公開される航跡動画イメージ

資料2別紙



注：本イメージ図は検討段階のものであり、詳細な仕様は今後調整

【作成：関西エアポート(株)】



# 空港と共生する泉州地域の活性化に関する検討会議（案）

資料3

本資料は、5月7日に開催された泉州市・町関西国際空港推進協議会総会（関空協）の場で、泉州地域が観光振興をはじめ地域の活性化に取り組んでいくにあたり、関空協、大阪府、関西エアポート社との「三者による検討の場」の設置方針が示されたことを受け、その後、三者事務方で調整した案です。

## ◆趣旨

関西空港の容量拡張は、一部地域への環境負荷が懸念される一方、空港のみならず、地域の発展にとって重要な機会となる。今後、増加が期待される訪日外国人を如何に泉州地域に取り込んでいくかなど、泉州地域において「空港と共生する泉州地域の活性化」に向けた共通課題への対応を検討するにあたり、空港会社、大阪府などの協力・支援を得て、以下の検討会議を共同で設置する。

## ◆概要案

項目	内容
名称	空港と共生する泉州地域の活性化に関する検討会議（仮称）
構成団体	関空協、関西エアポート社、大阪府 ほか ※(一社)KIX泉州ツーリズムビューロー、新関西国際空港(株)などの参画についても調整中 ※ 検討メンバーは実務責任者クラスを想定
当面想定される検討テーマ	○訪日外国人の地域への取り込み ○KIX泉州ツーリズムビューローの活性化支援 など ※今後、検討テーマは、関空協幹事会等での検討を踏まえて調整
検討方法	➤関係者ヒヤリング ➤訪日外国人データの分析など他事例調査 ➤有識者の意見聴取 } これらを踏まえ議論
スケジュール	今夏、検討会議を設置し、年度末に中間報告を行えるよう検討する。

第 3 2 回 関西国際空港の飛行経路問題に係る協議会  
出席者名簿

■ 国土交通省

航空局航空ネットワーク部長	蔵 持 京 治
大阪航空局長	村 田 有 則
大阪航空局関西国際空港長	勝 谷 一 則

■ 大阪府

大阪府知事	吉 村 洋 文
-------	---------

■ 大阪市

大阪市長代理 計画調整局長	山 田 裕 文
---------------	---------

■ 泉州市・町関西国際空港推進協議会

会長：阪南市長	水 野 謙 二
岸和田市長	永 野 耕 平
泉大津市長	南 出 賢 一
貝塚市長	酒 井 了
和泉市長	辻 宏 康
高石市長	畑 中 政 昭
泉南市長	山 本 優 真
忠岡町長	杉 原 健 士
熊取町長	藤 原 敏 司
田尻町長	栗 山 美 政
岬町長	田 代 堯
堺市長代理 副市長	佐 小 元 士
泉佐野市長代理 副市長	西 納 久 仁 明

■ 関西エアポート株式会社

代表取締役社長CEO	山 谷 佳 之
------------	---------

■ 新関西国際空港株式会社

代表取締役社長	保 田 亨
---------	-------